

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.8	・権利擁護の制度について職員全員が研修を通して学んでいるが、利用者やご家族に書類を用いて説明するまでには至っていない。	・公的パンフレット等の資料を活用し、利用者、ご家族にわかりやすく説明できるようにする。 ・いつでも利用者が活用できるように、日頃より権利擁護について理解を深める。	・玄関に資料を置いているスペースを設けているので、公的パンフレットを置き、いつでもだれでも閲覧できるようにする。 ・契約時には、パンフレットを用いて説明を行い、制度の利用も可能ということを伝える。	1ヶ月
2	No.32	・受診の際、家族、医師との情報交換や共有する時は口頭でのやりとりであり、情報がもれる場合もある。また適切に伝えるのは不十分である。	・受診の際は、時間やバイタルサイン、症状など漏れてはいけいないので、書面に残し、ご家族、医師に的確に伝えるようにする。	・受診の際には毎日つけている熱計表を持参し、医師にも日ごろの状態を知っておいて頂く。 ・受診時に、状態やバイタルサインなど書面に残し、的確に伝えるように行う。 ・ご家族の面会の時にも、口頭ではなく書面に残し情報を共有する。	2ヶ月
3	No.37	・火災を想定し、地域の方や青年団にも参加してもらって行っているが、風水害や地震などの訓練は行っていない。	・火災を想定した訓練だけではなく、風水害や地震などの訓練も実施し、連携体制を整備する。	・10月末には火災を想定した訓練だけではなく、地震を想定した訓練を実施する。 ・マニュアルも見直し、より安全でスムーズに行えるよう整備する。 ・風水害も後々、マニュアルを作成し訓練を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。